



令和6年7月23日

研修だより 22号

校内研修（1学期）のまとめ

小笠原康晃

1学期の校内研修（授業研究）については、以下のようにまとめました。

【成果】

- 1 子どもが「取り組みたい」と思わせる「しかけ」
- 2 ICTの効果的な活用

【課題】

- 1 思考力の向上に繋がる対話・協働場面への「しかけ」

今回の【課題】の改善案をグループで話し合ってくださいました。
その結果をまとめました。結果は下記の通りでした。

- 1 子どもたちのコミュニケーションを増やし、対話機会を増やす。
- 2 話す力（言う力）を高めていく。そのために、学習の場の設定をする。
- 3 子どもたちから自然と対話が生まれるような環境を整えていく。

このようなことを意識して、普段の授業や研究授業に取り組んでいきたいと思います。

先生方の日々の実践が、校内研修を進めるきっかけになります。
よろしくお願いします。

話し合いではあまり話題になりませんでした。【成果】が出た理由を整理しました。下記の通りです。

- 1 低学年からICTの活用を積極的に行っている。
- 2 子どもの興味・関心を高めるような教材・教具の工夫をしている。

大切なことは「得意を伸ばし、苦手を改善する」ことだと思います。
現在【成果】に上がっている項目に、より力を入れます。

【課題】となっている項目の改善に、より力を入れていきます。